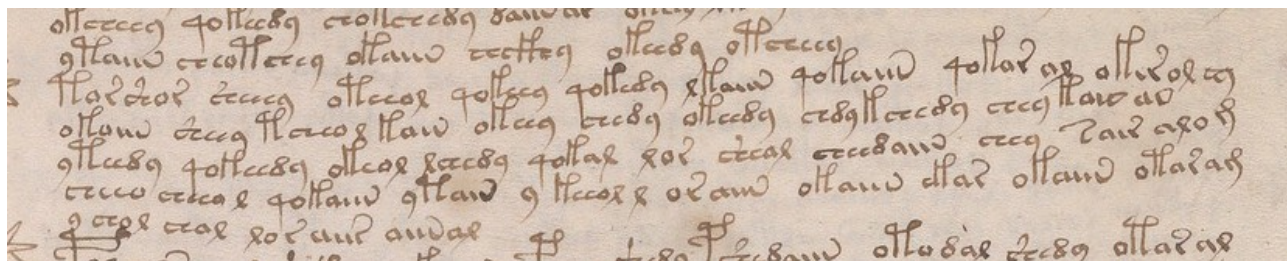


このページにも沢山の国が紹介されています。



bfand aatdafaacb daqand aaqab daqttsb dafaattb
新しいが長期の国が加わり成立した。人が離れたダクツツ国は長期の国ではなかった。(前国)

farbadar batttb dafttdaum nadaqttb nadaqtsb umqand nadaqand nadaqdar aum daqtdardaumtb
豊かな土地だが農地毎に多くない国で若い家だった。統治されない国はナダクト国で、
色々あったが**奴連合**となり無自立地が希望だったが自立の農地や家の国だった。

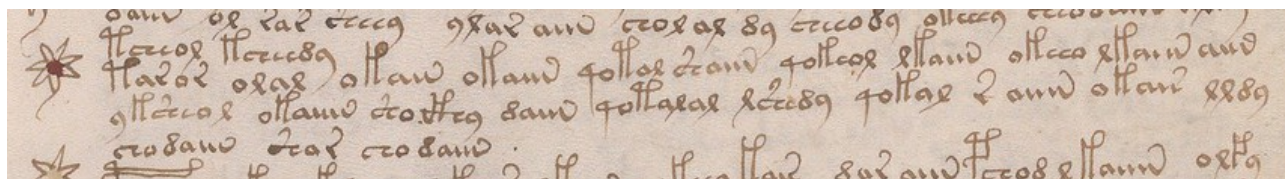
遠い土地へ行くと豊かになった若い家が支配せずにある。支配しない国は色々小さいが、
未成立で暗い土地ではなく希望があり、家の周りを制限しているだけである。

daqdand battb faatdaum qaid daqttb aatsb daqttsb aasbqaatsb aatb qaid ad
窮屈だが多くの国は大きくない家で、少しの助けで統治国になった。アアト国、ダクツツ国、
アア国、クアアト国は人が増え、少しの援助の助言があった。

bfttsb nadaqttb daqtdaum umaatsb nadaqaum umdar bataum aattsand aatb kair aumdazi
ブフツツ国、ナダクツツ国は統治された家で、**ウムアアト国**は無自立希望だった。
色々な土地には多くの希望があり、国土に加えられ人を増やし、雇われた若者が任命された。

aattda aattdaum nadaqand bfaid bqttdaum umdarand daqand daqar daqand dafarazi
沢山加えた家を取り込み、**奴連合**は新しい援助で新しい家と色々な農地が成立した。
自立地も成立し豊かな土地が可能となった。

baadaum aadaum umdaranr andaum
まとめた家は幾らかの家で、色々な農地には蓄えとそして考えがあった。



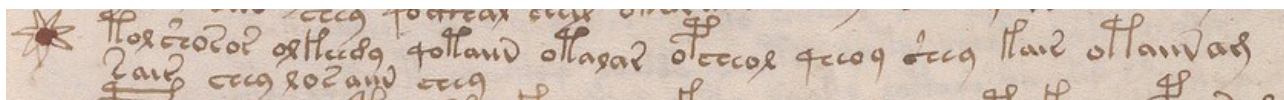
faatdaum qaattsb
大きくない家はクアアツツ国であった。(前地域の説明)

fardar daumaum daqaid daqand nadafdaum baand nadaqtdaum umqand daqttdaumqand and
豊かな土地や農地は家の希望で自助が成立して、豊かな希望が無いままで連帯した。
統治のない家は前向きで、徒落ちが沢山でも前向きは同様であった。

bqbatdaum daqaind badaqab sand nadafaumaum umbatsb r daind daqair umumsb
古い多くの家は自立した中央で、資産に応じた国土であった。
豊かでない希望が次々と出てきた**ウムバット国**には自立希望が無く、
周りではあるが自立地をウムウム(色々な)国にした。

aadasand baar aadasand
幾らかの争いで土地に従って他の国土となった。

16行目からの二行です。
このページは各国の紹介がされていますが、その内の一国です。



暫定的な発音読みは次の通りです。

fdaum badakdar daumqttsb nadafand dafaumar dapaatdaum nattdab batb qair dafandazi
kair aatb umdakand aatb

一行目です。

fdaum は f(遠)+daum(家)で「遠い家」
badakdar は ba(側)+dak(硬)+dar(農地)で「固い農地に沿って」
daumqttsb は daum(家)+qtt(小)+sb(国)で「家が小さい国」→ ダウムクツツ国
nadafand は na(否定)+daf(豊か)+and(だが)で「豊かでないが」
dafaumar は daf(豊か)+aum(希望)+ar(土地)で「豊かな希望の土地」
dapaatdaum は dapaa(多い)+t(否定)+daum(家)で「幾らかの家」
nattdab は nat(それぞれ)+t(集まり)+dab(人々)で「それぞれの人々が集まり」
batb は 沢山意味があり「提案」「変化」「豊かな人」「入れ物」「枠組み」など
qair は q(狭)+air(場所)で「狭い所」
dafandazi は dafand(年上)+azi(可能)で「年配は可能」

or(daum)がいくつか書かれています、「家」「国家」の意味があります。

and(and)には「そして」「だが」の二つの意味があります。

まとめて解説しますと「遠い国家で固い農地に沿ってダウムクツツ国があった。
豊かではないが豊かな希望の土地で、幾らかの家はそれぞれ集まった人々で変化し、
狭い所だが年配は(生活が)可能である。」となります。
qair の後に and が省略されていると解説しました。

二行目です。

kair は k(前)+air(場所)で「以前の場所」
aatb は aat(増加)+b(人)で「人が増える」
umdakand は umda(その他)+k(後)+and(だが)で「その他は後であるが」
aatb は aat(増加)+b(人)で「人が増える」

この行ではk(k)が二か所出てきますが、「時間の前」と「時間の後」の二通りに使われているようです。

意味は「以前の場所に人が増え、その他の所は後からであるが人が増えた。」となります。
umda の後に air が省略されていると解説しました。

この部分は daumqttsb[ダウムクツツ国]の紹介でしょう。

私は以前から、解説にあたり、各単語をパーツに分解しました。
それぞれのパーツを勝手に「語素」と読んでいますが、それは単文字の30数文字と
それらの単文字の組み合わせでできており、数百も理解できれば、ほとんどの単語の
理解ができると思います。